

日 時	令和5年12月21日（木） 10:00～12:00 第22回経営会議
出席者	平原副市長、城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、技監、政策局長、総務局長、財政局長、市民局長
欠席者	温暖化対策統括本部長、中区長
議 題	3 上瀬谷交通整備事業の実施について 【都市整備局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <p>旧上瀬谷通信施設地区（以下、本地区）及びその周辺を含む本市西部地域の交通ネットワークを構築していく。瀬谷～上瀬谷間については、専用道およびターミナル等を整備し、次世代技術を活用したバス交通の導入に向けた調査及び検討を進める。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>1 本市西部地域における交通ネットワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市西部地域の現状として①本市西部地域には約22万人が居住している②公共交通でカバーできていないエリアが存在する③環状4号線は緊急輸送路に指定されている④旧上瀬谷通信施設地区に広域応援活動拠点の整備を計画している⑤旧上瀬谷通信施設地区の土地利用転換に伴い交通需要が増加する、これらを踏まえて「新たな交通」の検討を進めてきた。 ・本市西部地域における地域交通のランドデザインとして <ul style="list-style-type: none"> ① 誰もが移動しやすいまちの実現 ② 持続可能な地域交通体系の構築 ③ 脱炭素化を推進するエリア形成 <p>を掲げ、本市西部地域における持続可能で利便性の高い地域交通の構築を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本コンセプトは「本市西部地域の南北方向の交通ネットワーク形成」である。具体的な手法としては、新たな輸送システムを導入することや環状4号線の既存インフラの活用とバス専用道を新たに整備するものである。 <p>2 瀬谷～上瀬谷間の輸送システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬谷～上瀬谷間の輸送システムについては、「次世代技術（自動運転・隊列走行）を活用したバス」による新たな輸送システムの導入を目指す。 ・道路などのインフラ整備は本市が行い、バスの運行は民間が行うことを想定し、今後、事業計画の検討を進める。 ・概算事業費については、現時点では総事業費約466億円を想定しており、市の負担が半分程度になるよう国費等の導入について検討を進める。 ・令和6年度から、瀬谷・上瀬谷間のインフラ整備に向けた基本設計に着手し、都市計画等の法定手続きや、運行事業を含む事業計画の検討を進め、2030年代前半の供用開始を目指し取り組む。

【主な意見等】

- ・専用道整備後に発生する維持管理費については、PFI 制度の活用等により市費負担を抑えたスキームを検討すること。
- ・事業の実施にあたっては、総事業費の圧縮や平準化に取り組むとともに、投資管理の視点から、施設等整備費全体の抑制に向けて、引き続き財政局と調整すること。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。